

# KEF REPORT 2024年度

創ろう、九州新時代  
拓こう、アジアの新世紀



KYUSHU ECONOMIC FORUM.

九州経済フォーラム

# KEFレポート 目次

KYUSHU ECONOMIC FORUM.  
2024年度

## 01 トップメッセージ

トップメッセージ 九州経済フォーラム 会長 石原 進	3
----------------------------	---

## 02 事業報告

○2024年度事業一覧	4～6
○主要事業レポート	
令和6年度 地域間交流懇談会in福岡	
「九州・台湾クリエイティブカンファレンスin福岡」	7～9

## 03 寄稿

九州大学 副学長 白谷 正治 氏	10
------------------	----

## 04 会員紹介～Origin・原点～

九州経済フォーラム 常任理事	
全日本空輸株式会社 福岡支店長 荒木 知哉	11
株式会社JTB 執行役員 ツーリズム事業本部 九州エリア広域代表 篠崎 和敏	11

## 05 新規法人会員企業紹介

こどもの夢を応援する株式会社/住友商事九州株式会社	12
宗像地建株式会社/ POT税理士法人	13
株式会社山口油屋福太郎	14

## 06 九州経済フォーラム役員一覧

15～17

I. 1990年のバブル崩壊から今年で35年になる。その間、日本経済は停滞し、GDPも世界第2位から第4位に落ち、失われた35年となった。

昨年度、ようやくデフレ経済から脱する兆しが見えてきた。この機会を生かすために最も重要なことは「人材の育成」である。世界は今や「第4の波」（AIの時代）に突入した。AIの進化のスピードは凄まじく、経済社会に大きなインパクトを及ぼしている。こうした時代には新たな産業が生まれ、それを担う企業が誕生する。アップル、アマゾン、グーグル等の例があるように、産業大転換の新時代に向けた新しい発想、アイデア、特にチャレンジ精神が重要となる。



九州経済フォーラム  
会長 石原 進

II. TSMCが熊本に来了。1兆2900億円の投資で、昨年末に生産を開始した。第2工場（2兆8500億円投資）の建設

も始まった。40年前、日本は世界の半導体生産国であったが、今は10%のシェアしかない。半導体は21世紀において、20世紀の石油に匹敵する重要な役割を持つ。熊本の2工場の建設費の半分は国が支援しており、半導体産業の復活にかける政府の強い意気込みを感じる。

日本が半導体産業において大きく遅れたのは、シリコンサイクルと言われる猛烈な速さで進む技術革新に、企業の投資力が対応できなかったことによる。TSMCは初めから市場は世界と捉え、設計だけ行うファブレス企業からの受託生産により、膨大な設備投資を可能としてきた。

台湾は政府主導で新竹に1500haもの土地を用意し、研究所、大学、工場、支援の役所等を誘致し、研究、教育、生産、行政手続き等を一体化したサイエンスパークを造り、スピード開発体制を整え世界中の需要に対応した。

そして台湾が成功した最大の要因は、世界中の需要にアジャイルに対応できる人材の育成を産官学一体で行ったことにある。

III. TSMCが九州に来了ことは、半導体を基軸とした新しい産業構造を造ることにより、低迷する日本の再生をリードする九州造りをする千載一遇のチャンスである。21世紀はAIによる「第4の波」の時代である。この時代を勝ち抜く人材の育成に日本の将来がかかっている。

## 参考) 人材育成の要点

### 1 外国の事例

- ・危機感（インド、イスラエル、台湾、韓国）
- ・理工系重視（インド、台湾、韓国）
- ・英語（インド、イスラエル、台湾、韓国）

### 2 AI時代の教育

- ・「構想力」の育成（答えのない時代）
- ・プログラミング教育
- ・リスキリング教育

## 02事業報告 ～2024年度事業一覧～

【4月】早朝会（日時：令和6年4月16日(火)）

テーマ『今こそ事業プロデュースが求められる時代 ～グランドビジョンが果たす役割とは～』

会場：株式会社グランドビジョンオフィス

講師：株式会社グランドビジョン 代表取締役社長 中尾 賢一郎 氏

参加人数：25名



【5月】第1回理事会・定期総会・特別講演（日時：令和6年5月20日(月)）

テーマ『気持ちの見える化によって産業は変わる～リアルタイムな感情認識が可能になったその先に（#認知症もわかり始めた最新技術の紹介）』

会場：グランドハイアット福岡

講師：慶応義塾大学理工学部 教授 満倉 靖恵 氏

参加人数：79名



【7月】第11回産学官ダイアログ ※福岡県中経協連合会連携事業（日時：令和6年7月11日(木)）

テーマ『これからの世界になぜ「信頼」が重要なのか？』

会場：八仙閣3F「天」

講師：立命館アジア太平洋大学 学長 米山 裕 氏

参加人数：58名



## 02事業報告 ～2024年度事業一覧～

### 【9月】 早朝会（日時：令和6年9月27日(金)）

テーマ『“しゃべる人”を探し続けて30年～取材と営業の共通項』

会場：NHK福岡放送局2F 食堂・よかビジョンホール

講師：NHK福岡放送局 局長 絹川 智紹 氏

参加人数：30名



### 【10月】 令和6年度地域間交流懇談会in福岡（九州・台湾クリエイティブカンファレンスin福岡）

会場：エルガーホール 大ホール（日時：令和6年10月16日(水)～10月17日(木)）

ゲスト：スタンフォード大学SLDDRS 所長 西村 俊彦 氏

国立台湾大学 名誉教授 Chen-en Ko 氏

TSMC シニア・バイス・プレジデント Lora Ho 氏

JASM 取締役社長 堀田 祐一 氏

Sozo Ventures シニア・マネージング・ディレクター 中村 幸一郎 氏 ほか41名

参加人数：2日間延べ557名



### 【12月】 忘年例会（日時：令和6年12月16日(月)）

テーマ『緩慢な衰退を乗り越える企業変革 — 構造的無能化からの脱却』

会場：ソラリア西鉄ホテル福岡

講師：経営学者 宇田川 元一 氏

参加人数：60名



## 02事業報告 ～2024年度事業一覧～

### 【1月】服部県知事を囲む新年祝賀会（日時：令和7年1月21日(火)）

会場：福岡県知事公舎

参加人数：173名



### 【2月】第12回産学官ダイアログ ※福岡県中経協連合会連携事業（日時：令和7年2月7日(金)）

テーマ『シェアリングとは何か？～未来の社会を考える～』

会場：グランフェスタ博多 2F デパーチャー

講師：(一社)シェアリングエコノミー協会 代表理事 石山 アンジュ 氏

参加人数：50名



### 【3月】車座談義（日時：令和7年3月26日(水)）

テーマ『宇宙産業の最前線とInfostellarの挑戦：次世代宇宙ビジネスの展望』

会場：八仙閣本店

講師：株式会社インフォステラ 代表取締役CEO 倉原 直美 氏

参加人数：29名



## 02事業報告 ～主要事業レポート～

【10月】令和6年度地域間交流懇談会in福岡（九州・台湾クリエイティブカンファレンスin福岡）

日時：令和6年10月16日(水)～17日(木)

会場：エルガーラホール 大ホール

九州経済フォーラムでは、令和6年10月16～17日の2日間に渡り、『九州・台湾クリエイティブカンファレンスin福岡』を開催した。本イベントは地域間交流懇談会in福岡として、九州台湾クリエイティブカンファレンス実行委員会の主催で開催した。TSMC副社長やJASM取締役社長をはじめ、日・台・米の産官学金トップリーダーや研究者が一堂に会し、最先端の研究・実践が発表された。2日間で延べ557名の方にお越しいただいた。

本記事では、2日間のハイライトを紹介させていただく。

### <1日目>

九州経済フォーラム石原会長の挨拶から本カンファレンスがスタートした。昨年の薩摩川内市での初開催に続き、今回もスタンフォード大学の西村教授や台湾大学名誉教授のチェンエン・コウ先生を中心に、国内外の幅広い分野の専門家が参加。九州ではTSMCの熊本進出を契機に、半導体産業が復活の兆しを見せており、土地や人材、地域経済の活性化に注目が集まっている。本イベントを通じて、九州と台湾の連携をさらに深め、未来の産業基盤を構築するための新たな知見やアイデアを共有していく場としていくことを目指している、と話された。



▲開会挨拶で本イベントの狙いを話す  
石原・九州経済フォーラム会長

次は、TSMC副社長Lora Ho氏とJASM取締役社長堀田祐一氏による「半導体産業のESG」をテーマにした講演。

Lora氏は、1987年設立のTSMCが最先端技術を活用した製造革新を推進する一方で、グリーンエネルギー活用やゼロエミッション推進、リサイクル資材導入など環境負荷低減に向けた取り組みを紹介。また、多様性を尊重した人材育成やオンライン教育、地域社会への災害支援・障害者支援といった広範な社会貢献活動を強調した。

堀田氏は、熊本におけるTSMC工場プロジェクトを例に、再生可能エネルギー活用、水資源保護、リサイクル推進の実践を説明するとともに、九州大学・熊本大学との連携による次世代人材育成の取り組みを紹介。さらに、地域社会や文化活動への協力を通じ、日本と台湾の協力を強化し、持続可能な半導体産業を支える基盤を構築する展望が示された。両者の講演を通じ、技術革新と地域や環境との共生を目指す産業の未来像が明確に示された。



▲「半導体産業のESG」でスピーチを行う  
Lora Ho・TSMC シニア・バイス・プレジデント

福岡県知事、服部氏は、九州の半導体産業と自動車産業の振興について講演を実施。熊本のTSMC進出や北九州市への台湾半導体企業誘致により、九州は「シリコンアイランド」として発展中で、九州を世界的な産業拠点へ押し上げるとされた。人材育成や研究施設整備、企業誘致策の強化を通じ、九州全体の産業集積地化を目指し、地域と企業が一体となる取り組みが進められている。

◀「福岡県産業政策発信」で「新生・シリコンアイランド」について講演される服部・福岡県知事





▲基調講演を行う天野・名古屋大学 教授

ノーベル物理学賞受賞者である、名古屋大学教授天野氏は、ガリウム窒化物やSiCを用いた半導体技術がカーボンニュートラルに貢献する可能性について講演。これらの材料はエネルギー変換効率を向上させ、太陽光発電や電気自動車(EV)の性能を向上させる鍵とされる。さらに、世界最短波長の半導体レーザーの開発や次世代ディスプレイ、スマートインターフェースの研究を進め、2050年のネットゼロエミッション実現を目指している。九州や台湾との連携も視野に入れ、産学協同を推進していく方針を示した。

ここまで、半導体分野のビジネスの最先端、行政の最先端と話題が展開され、研究の最先端にも触れた時間であった。

### < 2日目 >

2日目の始まりは「宇宙医療イニシアティブ」というテーマからスタートした。西村氏による進行の中、九州の「新生シリコンアイランド」から宇宙産業拠点への進化の展望が、宇宙産業・研究の最先端を歩まれる5名から語られた。宇宙総論から、宇宙に関わる50年間の歴史の話、宇宙と医学の繋がり、新たなビジネスアイデアまで、過去から現在までを様々な観点で知ることができた。

これらの取り組みを通じ、人類の宇宙進出と医療分野の新たな可能性が具体的に示された。



▲「宇宙医療イニシアティブ」でモデレーターを務める西村・スタンフォード大学 SLDDDRS 所長



最後は、安浦氏による「Silicon Sea Belt 2.0」のスピーチであった。1990年代以降、日本が半導体設計を軽視し、水平分業で台湾に遅れを取った歴史を指摘。特にTSMCは製造特化で成功し、台湾が半導体分野で優位に立つ一方、日本は素材や製造装置で強みを持つが設計・製造で劣後。今後、設計や製造技術への投資強化と戦略的転換が必要であること、台湾と九州の持続的連携を進めること、がこれから大切であると語られた。

◀「Silicon Sea Belt 2.0」でスピーチを行う安浦・九州大学 名誉教授

最後は九州・台湾クリエイティブカンファレンス実行委員を務めた3名からのメッセージで幕を下ろした。

石原会長は、台湾TSMCとの連携を通じて、日本の半導体産業復活の可能性を指摘し、若者育成と九州を中心とした産業クラスターの形成を提案。

Chen En Ko氏は、九州と台湾が共に「シリコンシーベルト」構想を実現させるリーダーシップの重要性を強調し、若い世代の成長環境の整備を使命と語った。

西村氏は、人材育成を次回の議題として提起し、循環型経済や宇宙産業の議論を踏まえ、協力の具体化が急務であると述べた。次回以降のカンファレンス開催に向け、さらなる連携を提言された。

総じて参加者は多様な視点から学び、議論することができ、新たな時代に向けて国境を越えた新しい連携の可能性を模索する非常に良い国際会議の場となった。



▲本事業の開催に尽力頂いた実行委員会の3名 左から、西村氏、石原会長、Chen-en Ko氏

# 02事業報告 ~主要事業レポート~



# 九州半導体産業の未来と日台連携の展望



九州大学 副学長 白谷 正治 氏

1980年代に、九州に半導体クラスターが形成され、「シリコンアイランド」と呼ばれるようになりました。九州は今、「新生シリコンアイランド」に向けて着実に歩みを進めています。例えば、産学官が連携し、次世代技術者の育成とサプライチェーンの強化を目指す「九州半導体人材育成等コンソーシアム」が活発に活動しています。

この動きの中で、半導体用の材料と製造装置に強みを有する日本と半導体製造に強みを有する台湾との連携は、「新生シリコンアイランド」にとって極めて重要です。TSMCをはじめとする世界有数の半導体企業と協力し、半導体の安定供給と技術革新を共に追求する日台関係の深化が期待されています。昨年10月に福岡市で開催された「九州・台湾クリエイティブカンファレンス in 福岡」では、日本と台湾の協業の具体例や将来展望が共有されるなど、両地域の強固な絆が明らかになりました。このように、半導体産業において多国間の協業が今後ますます重要になります。すなわち日本の企業は、その大きさにかかわらず世界を相手にビジネス展開していくことを意味しています。このためには、企業のトップを中心として英語で説得力のある議論や営業を行う力も必要となります。特定テーマに焦点を絞って海外進出を目指した複数企業のコンソーシアムなどによる協力は、国際ビジネス展開の一助になると期待されます。

AI・ロボティクス・自動運転などの技術が加速度的に進化する中で、これらの技術が形成する見えている市場に加えて、新たな市場創出を迅速に実現することも鍵となります。Siウエハ月産5万枚規模のメガファブを社会基盤とする未来社会では、持続可能な社会を支える革新的アプリケーションの創出が不可欠です。これが、Rapidusの成功やTSMCのさらなる九州進出に大きく貢献します。

九州大学では「価値創造型半導体教育研究センター」を中心に、技術と社会をつなぐ人材育成を進めています。技術、経営、社会実装の各視点から幅広く学べる教育環境が整い、他大学や企業との連携により、実践力を備えた次世代リーダーが育っています。このセンターの講義群は、九大内だけでなく他大学や社会人にも公開しており、リスキリングにも活用頂けます。

今後も九州大学は地域産業との連携をさらに深め、グローバルな視野で半導体産業の未来を皆様と協力して切り拓いてまいります。

### 座右の銘

## 「努力と挑戦」

2013年にANAグループがホールディング体制を迎えるにあたり、新しい経営理念を検討するプロジェクトに関わりました。私の役目はボトムアップで社員の意見をまとめ、会社のミッションやビジョンを達成するための「行動指針」を経営者へ提言すること。「努力と挑戦」を、「安全」「お客様視点」「社会への責任」「チームスピリット」に並ぶ5つめの指針としました。競争の激しいエアライン業界において、他社に先んじて新しいことに挑戦していくことは差別化戦略上とても大切ですが、その挑戦は安全で快適な日々のオペレーションがあってこそ成立します。そして、日々の安定したオペレーションは、さまざまな領域のプロフェッショナル一人一人の努力と、チームワークの結晶でもあります。

「努力」も「挑戦」もごく有り触れた言葉ですが、それぞれが個別にあるものではなく、仕事にはその両方が大事で欠くべからざるものだというところに、改めて気づかされました。また、当時のメンバーたちとの議論を通して、私自身にとっても日々の自分を振り返り、時に戒める言葉となりました。



全日本空輸株式会社  
福岡支店長 荒木 知哉 氏

#### 【夢中になっていること】

釣りです。季節毎に様々な釣魚を求め、海に出ています。勿論、美味しい魚を食べたいということもありますが、全集中で竿先をながめ魚と駆け引きをしている時間は、日々の細かいことから解放され、自分を取り戻す最高のリフレッシュの時間です。

### 座右の銘

## 「笑門来福」

JTBに入社して、35年。入社当時より弊社の仕事は、人々に夢を売ること、人々の人生に影響を与えることができる仕事だと自負を持って取組み、日々、笑顔で営業することが大事だと思って実践してきました。これまで、営業職のみならず本社や管理系の職も経験しました。そこで、社内外の方と接していく中で、笑顔は、正対する方（お客様など）の心を開くカギであることを認識しました。「営業時に笑顔で対応すると、お客様は自分に親しみを感じ、その結果、脳内からオキシトシンが分泌されるためビジネスがより促進される」という研究者の学術的見解もあります。

また、組織を運営する立場となった時から、困難な状況に置かれた時も、周囲を安心させ落ち着かせるため、あえて笑顔でいるように心掛けています。すると、問題解決へ向けてよいアイデアがでてきたものでした。そのような経験から、笑顔は周囲を幸せにして、良いことを呼び寄せる力があると信じており、社内でも、この座右の銘を公にしています。



株式会社JTB  
執行役員 ツーリズム事業本部  
九州エリア広域代表 篠崎 和敏 氏

#### 【夢中になっていること】

ジムでのプール歩行です。昨年より座骨神経痛を患っており、その改善のためですが、何よりも大好きなゴルフをプレーするために日々精進しています。それとFacebook用に出張先でしか見れない風景の写真を撮ることに楽しみます。

# こどもの夢を応援する株式会社

## ■企業紹介

当社は「一人でも多くの子どもたちが夢や希望を持ちそれが実現出来る社会を作る」をMissisonとし、夢に向かって頑張っている人たちが活動資金を集められる「YumeOshi」と言うプラットフォームを運営しております。

また、早い段階でホンモノに触れる事で子どもたちの夢にスイッチを入れていくイベント事業を行っております。

こちらのイベントは子どもたちの参加費は基本無料で、企業からの協賛により成り立つ仕組みになっています

企業にはCSR活動の一環や福利厚生の一部として活用頂きながら、共に未来の日本を背負って立つ子どもたちを育成出来ればと考えております。



## ■代表紹介

代表取締役 井土朋厚

1974年福岡生まれ  
21歳で起業  
メインで行なっていた  
フードデリバリー事業は  
2018年に上場企業に売却  
2024年 当法人を設立



## ■企業概要

- ・設立 2024年2月8日
- ・代表者 井土朋厚
- ・事業内容 夢応援プラットフォームの運営
- ・従業員数 1
- ・本社所在地 福岡市中央区天神2-3-36
- ・ホームページ <https://www.yumeoshi.com/>

# 住友商事九州株式会社

## ■企業紹介

私たちは総合商社のグローバルかつ広範な産業分野におけるネットワークや高度な知見を総合力と言う形に変え、トレードやプロジェクトの開発・推進を通じ、地域の皆さまのニーズにお応えし、九州・沖縄地域の経済発展に貢献していきます。

“Leading 九州 ～喜びと豊かさに向かって～”をスローガンとして掲げる我々は、九州・沖縄の皆さまに信頼される地域総合商社として、地域の一員として、今後も更なる躍進のために尽力して参ります。

## ■代表紹介

代表取締役社長 齊田 忠勇

1988年住友商事入社。  
主にエレクトロニクス、鉱物資源の事業に携わる。アメリカ、オーストラリア、南アフリカでの駐在を経て2024年住友商事九州の社長に就任。今回初の九州駐在となる。



## ■企業概要

- ・営業開始 2005年10月1日
- ・代表者 齊田 忠勇
- ・事業内容 総合商社
- ・従業員数 135名
- ・本社所在地 福岡市博多区博多駅前3-30-23 博多管絃ビル
- ・ホームページ <https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/sc-kyushu/>

## 宗像地建株式会社

### ■企業紹介

私たちは不動産取引の仲介を主な事業とし、納得のいく売買と賃貸の斡旋業務及び徹底した管理でお客様のニーズに応え、より豊かな生活を実現出来るようトータルサポートいたします。

一生において幾度と無い不動産の取引は、お客様から頂くひとつひとつのご相談に対し、全て真摯に誠実に対応しなければなりません。一時的な賃貸から長期的な売買まで、それぞれがお客様の生活そのものであり人生の一ページとなります。

弊社は不動産業者としてその使命を自覚し、誠実なる対応と品行をもって礼節を尽くし責任を全うする事で、地域の発展と社会への貢献に寄与出来ればと願っております。



宗像地建 株式会社



### ■代表紹介

代表取締役 薙野 光  
(福岡県朝倉市出身)

1974年 福岡県警察官を退職  
(当時28歳)

同年8月 薙野不動産商事として  
不動産取引業を創業

1980年 宗像地建株式会社 設立

2024年 創業50周年を迎える

趣味 犬猫の世話、ドライブ、ウォーキング

### ■企業概要

- ・創業 1974年8月
- ・代表者 薙野 光(ナギノ ヒカル)
- ・事業内容 宅地建物取引業 他
- ・従業員数 10名
- ・本社所在地 福岡県福津市小竹1丁目3番7号
- ・ホームページ <http://www.m-chicken.co.jp/>

## POT税理士法人

### ■企業紹介

2019年の創業以来、資産税(事業承継・組織再編・相続税)に強みを持つコンサルティング型の税理士法人です。

創業から今日まで、非常に多くのご依頼をいただき私達にしかできない事業承継を提案し実行してきました。

多くの方々との出会いを通して感じた「寄り添い伴走する事」「提案し確実に実行する事」の大切さと、その結果でいただく「ありがとう」の一言が自分達を突き動かしています。

中堅・中小企業を支えるプロフェッショナル集団として皆様のお役に立てるよう「オンリーワンの伴走型・提案実行型税理士法人」think&doタンクを目指し、邁進していきます。



POT 税理士法人

### ■代表紹介

代表税理士 玉井英樹



山口県下関市出身。顧問業務以外にもM&Aや事業承継分野に携わりPOT税理士法人創立後は、ファミリービジネスを支えるべく、たくさんの経営者の方と時間を共にさせていただき充実した日々。

### ■企業概要

- ・創業 令和元年10月1日
- ・代表者 玉井英樹、池上彬寛
- ・事業内容 税理士業、ファミリービジネス  
コンサル
- ・従業員数 13名(うち税理士7名)
- ・本社所在地 福岡市中央区渡辺通5-14-12  
南天神ビル8階
- ・ホームページ <https://pot-tax.or.jp/>

# 株式会社山口油屋福太郎

### ■企業紹介

1909年創業。”福岡の食”を支え続けている、総合食品企業です。

福岡県内を中心に業務用食品卸業を展開している他、「マイルドな辛さと旨味」が特徴の明太子や「パリッとした食感・程よい辛味と魚介の旨味」が特徴の辛子めんたい風味せんべい

「めんべい」を販売しています。

食を通じて、お客様に笑顔とおいしさを届け続けることを目指しています。

株式会社 **山口油屋福太郎**

### ■代表紹介

代表取締役社長 樋口元信

2001年株式会社山口油屋福太郎入社。2005年同社取締役財務部長、2018年同社常務取締役、2023年11月同社代表取締役社長就任。現在に至る。



### ■企業概要

- ・創業 1909年3月
- ・代表者 代表取締役社長 樋口元信
- ・事業内容 業務用食品・資材の販売、明太子の製造・販売など
- ・従業員数 330名（2024年12月現在）
- ・本社所在地 福岡県福岡市南区五十川1丁目1-1
- ・ホームページ <https://www.fukutaro.co.jp/>

## 06九州経済フォーラム役員一覧

### 役員

KEF役職別・五十音順/敬称略(2025.6.30現在)

KEF役職	氏名	所属企業・団体名	役職
会長	石原 進	九州旅客鉄道株式会社	名誉顧問
会長代行	貫 正義	九州電力株式会社	特別顧問
副会長	池内 比呂子	株式会社テノ、ホールディングス	代表取締役社長
副会長	礪山 誠二	株式会社九州リースサービス	代表取締役社長
副会長	甲斐 隆博	株式会社肥後銀行	顧問
副会長	小林 専司	(一社)福岡県中小企業経営者協会連合会	会長
副会長	高宮 俊諦	株式会社タカミヤ	代表取締役会長
副会長	田中 亮一郎	第一交通産業株式会社	代表取締役社長
副会長	右田 聖秀	西日本電信電話株式会社	執行役員 九州支店長
副会長	米山 裕	立命館アジア太平洋大学	学長
副会長	龍造寺 健介	本多機工株式会社	代表取締役社長
常任理事	荒木 知哉	全日本空輸株式会社	福岡支店長
常任理事	梅林 秀伍	梅林建設株式会社	代表取締役会長
常任理事	古賀 正博	(一社)福岡県中小企業経営者協会連合会	常務理事
常任理事	篠崎 和敏	株式会社JTB	執行役員 ツーリズム事業本部 九州エリア広域代表
常任理事	鷹見 昭人	トヨタ自動車九州株式会社	コーポレート本部 統括部長
常任理事	田川 大介	株式会社西日本新聞社	代表取締役社長
常任理事	田村 信也	TOTO株式会社	代表取締役社長執行役員
常任理事	富永 泰輔	株式会社福岡運輸ホールディングス	代表取締役社長
常任理事	東 俊明	日産自動車九州株式会社	取締役常務執行役員
常任理事	御手洗 淳	西部ガスホールディングス株式会社	取締役常務執行役員
常任理事	吉田 泰彦	株式会社福岡銀行	顧問
常任理事	和田 あずさ	株式会社NTTドコモ	執行役員 九州支社長

## 06九州経済フォーラム役員一覧

### 役員

KEF役職別・五十音順/敬称略(2025.6.30現在)

KEF役職	氏名	所属企業・団体名	役職
理事	石田 久仁	大日本印刷株式会社	情報イノベーション事業部 西日本CXセンター長
理事	泉原 博行	株式会社西日本シティ銀行	取締役常務執行役員
理事	今井 俊之	株式会社日本経済新聞社	専務執行役員 西部支社代表
理事	内川 孝広	三井不動産株式会社	九州支店長
理事	太田 禎郎	株式会社ホテル日航福岡	代表取締役社長
理事	木戸 啓人	九州電力株式会社	取締役常務執行役員
理事	坂口 光一	(一社) イドビラキ/九州大学	代表理事/名誉教授
理事	白水 ルリ子	(福) 宝満福祉会	理事長
理事	筒井 俊英	英進館ホールディングス株式会社	代表取締役社長
理事	縄田 真澄	(公財) 九州経済調査協会	理事長
理事	原 正	(一財) 九州オープンイノベーションセンター	常務理事
理事	二又 茂明	久留米運送株式会社	代表取締役CEO
理事	古宮 洋二	九州旅客鉄道株式会社	代表取締役社長執行役員
理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社	代表取締役社長
理事	光山 慎二	株式会社九電工	上席執行役員
理事	森 慎二	西日本鉄道株式会社	常務執行役員
理事	矢野 健	安全産業株式会社	代表取締役
理事	吉田 昌敬	株式会社メモリード	代表取締役社長
理事	吉村 広志	麻生商事株式会社	専務取締役
常務理事	岡部 知寛	株式会社大洋グループ	代表取締役社長
常務理事	後藤 太一	リージョンワークス合同会社	代表社員
常務理事	戸嶋 太一	中央地所株式会社	代表取締役社長
常務理事	中尾 賢一郎	株式会社グランドビジョン	代表取締役
常務理事	浜崎 陽一郎	株式会社Fusic	取締役副社長
常務理事	増田 成泰	増田石油株式会社	代表取締役社長
常務理事	柳瀬 隆志	嘉穂無線ホールディングス株式会社	代表取締役社長

## 06九州経済フォーラム役員一覧

### 監事

敬称略(2025.6.30現在)

監事	西川 勲	九州日観植物株式会社	代表取締役会長
監事	柳井 雅人	北九州市立大学	学長

### 相談役・顧問・名誉会員・参与

敬称略(2025.6.30現在)

相談役	長谷川 裕一	株式会社はせがわ	相談役
相談役	橋田 紘一	株式会社SUMIDA	代表取締役
顧問	原田 修吾	国土交通省 九州運輸局	局長
顧問	星野 光明	経済産業省 九州経済産業局	局長
顧問	森田 康夫	国土交通省 九州地方整備局	局長
顧問	佐久田 健司	日本銀行 福岡支店	支店長
顧問	福島 秀生	財務省 福岡財務支局	支局長
顧問	水木 祐一	株式会社日本政策投資銀行	九州支店長
参与	杉本 達哉	宮崎県 福岡事務所	所長
参与	淵脇 拡之	熊本県 福岡事務所	所長
参与	平川 暢教	大分県 福岡事務所	所長
参与	小田 真由美	鹿児島県 福岡事務所	所長

# KEF REPORT 2024年度

KYUSHU ECONOMIC FORUM.  
九州経済フォーラム「令和ビジョン」

## ひと！感動九州



創ろう、九州新時代。拓こう、アジアの新時代。



KYUSHU ECONOMIC FORUM.

九州経済フォーラム